



たかしろ社協だより 62号

令和8年7月 高城地区社会福祉協議会

事務所：電話 28-0950（高城コミュニティセンター内）

みんなで支え合って 安心して暮らせる 福祉の郷 たかしろ

I. 令和8年度高城地区社会福祉協議会の事業決定

令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画(案)・収支計画(案)を3月27日(金)開催の理事会で決定、4月30日(木)開催の高城コミュニティセンター運営委員会総会において事業内容を承認されました。

今年度も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。



1. 事業方針

高城地区の高齢化は48%と高く、昨年に比べ2ポイント程度増え、上昇傾向が続いています。高齢化が高くなるとともに、高齢者の一人暮らしの世帯が増えていくと考えられます。

一人暮らし高齢者については、孤立による孤独死やフレイル・認知症への進行が懸念されており、このことに対する予防をしっかりと取り組む必要があります。引き続き地区サロン等のふれあい見守り活動を充実し、健康寿命の延長につなげていきたいと思ひます。

また、地域での見守り活動を支援している福祉協力員制度が今年度より見直されました。この新たな福祉協力員制度のもとに地域の見守り活動を支援して参ります。

2. 事業内容

目指せ！ 健康寿命 100歳

(1) 地域福祉活動

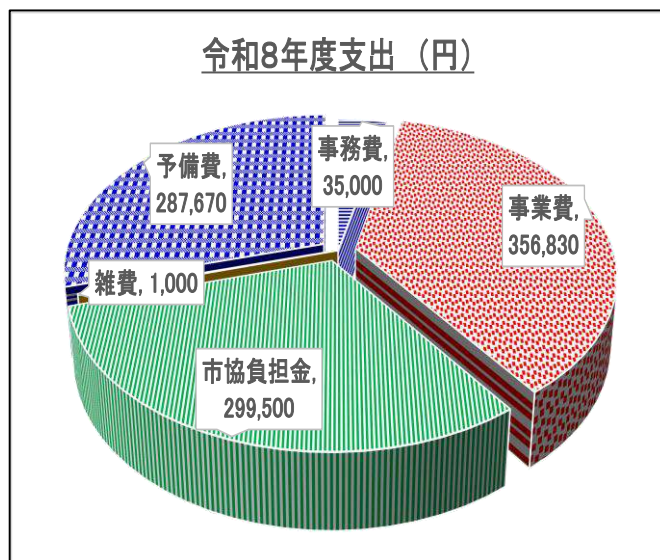
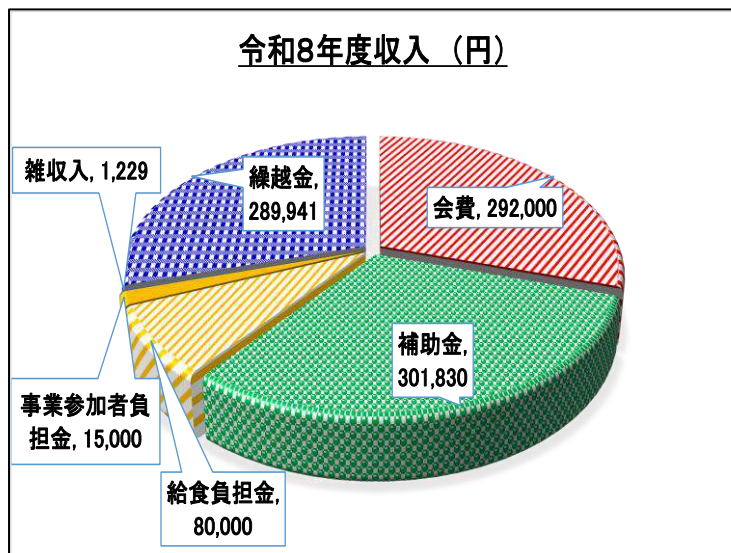
- (ア) **見守り・発見・つなぎ**: 支え愛マップづくり活動支援、地区福祉を考える集い(研修会)の開催
福祉協力員活動のフォローアップ
- (イ) **ふれあい・交流**: 集落サロン支援、地区サロン「すまいる高城サロン」4回開催、移動型ふれあいサロン 毎週木曜日実施、地域住民との交流
- (ウ) **話し合い・協議**: 集落福祉懇談会
- (エ) **学び・気づき**: 「たかしろ社協だより」の発行、各種研修会・講演会の開催

(2) 高齢者福祉活動

- (ア) **ふれあい給食サービス活動**: 月2回、予定食数13食/回
- (イ) **給食ボランティア研修会の開催**: 食中毒予防
- (ウ) **歳末助け合い活動**: 餅つき交流会12月、正月給食サービス12月～1月の4回



3. 収支予算 980,000 円



4. 役員紹介

役員区分	役 職	氏 名	備 考
理 事	会 長	笠 見 満 隆	有識者
	副 会 長	阪 本 常 義	有識者
		河 野 正 人	高城コミュニティセンター館長
		河 野 磨	自治公民館協議会
	事務局長	伊 藤 豊 昭	有識者
	会 計	増 尾 孝 子	有識者
		山 増 博 通	自治公民館協議会
		尾 上 清 公	青少年健全育成協議会
		市 田 孝 憲	民生児童委員協議会
		西 尾 澄 恵	福祉協力員連絡会
		池 田 涼 子	給食ボランティア
		山 部 秀 樹	有識者
		藤 田 恵 子	有識者
		門 脇 静 香	有識者
		矢 野 信 子	有識者



高齢者福祉向上を
進めましょう！



II. 令和8年度 高城地区福祉を考える集い

4月4日(土)19時～20時40分 高城ふれあいセンターで、26名の参加者(福祉協力員、自治公民館館長、民生児童委員、地区社協関係者)を得て、「高城地区の高齢者福祉」について学習をしました。

1. 高齢者に関わる地区の見守り活動について（高城地区社会福祉協議会 事務局）

(ア) 高城地区人口構成、高齢者人口構成比、見守り承諾者数も紹介

- 高城地区の人口は、平成26年対比520人減少し高齢者人口推移は横ばいの783人前後、高齢化率は47.7%。その内の415人は75歳以上。 ※令和8年2月末現在

- 令和7年9月末、「要援護者台帳登録者」の一人暮らし94人、高齢者世帯46世帯。緊急時には、これらの方々の支援体制を高城地区全体・各自治公民館での確立が求められます。

(イ) 令和8年2月現在の「空家率」と自然災害発生状況を紹介

(ウ) 高城地区社協の高齢者ふれあい事業紹介

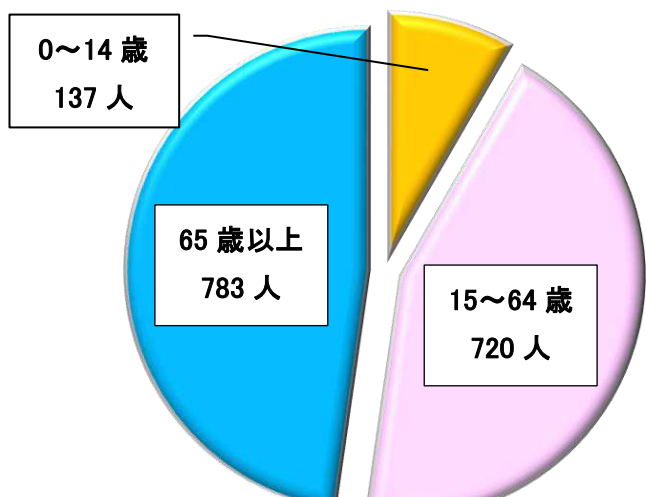
(エ) 民間事業者の見守り・安否確認の事例紹介

- 見守りは、隣近所をはじめ地域全体で「気に掛ける」ことが重要です。

(オ) 見守りって！何をすればいい！事例紹介

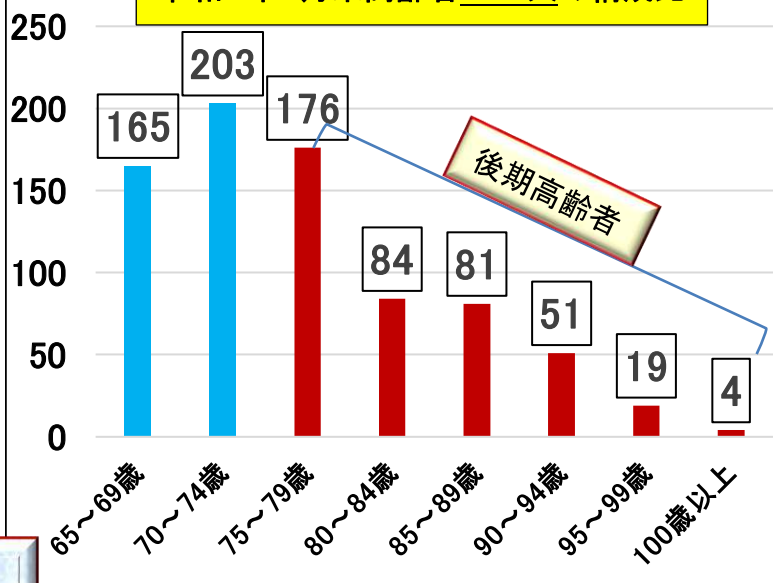


令和8年2月末高城人口 1,640 人の構成比



4人に1人は75歳以上です！

令和8年2月末高齢者783人の構成比



2. 福祉協力員活動基礎研修 (倉吉市社会福祉協議会 森本さん)

福祉協力員とは：地域住民による日々の暮らしを見守るボランティア活動

〔活動内容(例)〕

- 声掛けによる安否確認：お元気ですか・・・など
- 日頃の確認：郵便受け取り込み状況・・・など
- 電話での声掛け：台風・地震後の安否確認
- 連携相談：自治公民館館長・民生児童委員へ情報共有

〔地域の見守り活動がもたらす効果〕

- ✚ 孤立孤独の防止
- ✚ 早期発見・対応による問題の深刻化防止と地域生活の維持

孤独感の軽減・精神的な安心感

感謝

〔目指したい地域の姿〕

- 住民が相互に支え合う地域
 - 地域全体で支え合うという意識を高める
- 誰もが生きがいを感じながら暮らせる地域
 - 日常生活に生きがいを感じながら、地域で暮らせるよう見守りや交流活動の充実
- 専門職と連携・協働した地域
 - 地域の様々な課題に気づき、専門職と連携・協働した支え合いの仕組み作り

〔福祉協力員制度の改正背景〕

- ◆ この制度を導入して 40 年経過し、高齢化、社会情勢の変化により課題が浮彫に・・・
 - ✓ 負担感の増加、個人情報やプライバシーに配慮
- ◆ 福祉協力員の実態把握のアンケート実施
 - ✓ 福祉協力員の孤独感
 - ✓ 個人情報の取り扱いと関係機関間の連携
 - ✓ 研修等の機会の増加

3. 参加者の感想 ※貴重なご意見を頂きました！

- (ア) 福祉協力員の仕事の大変さがよくわかる研修会でした。
誰もが順番に高齢者になっていくので、見守る方から
見守られる方になって行く。独り住まいになる可能性が
あるので、この様な知識を覚えておきたい。
- (イ) 地域全体で考え取り組みをしていくことが必要。色々な
問題があることを共有することが大切だと思った。
特に何もなくても、まずは声掛けから！
- (ウ) 自治公館長、福祉協力員、民生児童委員・・・
の研修会でしたが、事務局が話された、自治公民館
協議会、各自治公民館で「地区で考えよう」
「集落で考えよう」と言う動きがあれば、
もっと活発な研修(動き)が現れると思います。



研修会風景



福祉協力員制度改正ポイント説明

III. 令和8年度 第1回「すまいる高城サロン」開催

- 6月5日(金)10時～12時 高城コミュニティセンターで、「歌のチカラでみんな笑顔！参加者と一
緒に歌い体を動かすライブ」を通して社会づくりに貢献する**コーラスグループ「A-によばりーと」**の
皆さんをお招きし、一般参加者18人、地区社協関係者、看護大学生、市社協、地域包括支援セ
ンター、長寿社会課の皆さんを含めて36人の参加者を得て「**歌い！笑い！**」大変楽しい時間を
過ごしました。
- 地域包括支援センターと地区社協による「**学んで防ごう！消費者トラブル**」と「**詐欺事例**」につい
て情報共有しました。
- 今回、給食ボランティア9人の方に旬の野菜などを調理して頂いた弁当を、美味しく食べながら会
食交流をおこないました。給食ボランティアの皆さま、ご協力ありがとうございました。

「A-によばりーと」のリードと一緒に歌遊び、手遊び！



参加者の皆さん



- 電話勧誘販売・訪問販売のトラブル事例と対処法説明！
- 知識と警戒心があなたを守る！
- 会ったことがない相手からの金銭要求は100%詐欺！です



あごのつみれ汁